

各位

上場会社名 株式会社 卑弥呼
 代表者 代表取締役会長兼社長 柴田 一
 (コード番号 9892)
 問合せ先責任者 取締役 総務部・経理部担当 船倉 俊明
 (TEL 03-5485-3711)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月12日に公表した平成23年3月期通期業績予想および配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,950	690	770	470	59.53
今回発表予想(B)	6,700	750	800	350	44.33
増減額(B-A)	△250	60	30	△120	
増減率(%)	△3.6	8.7	3.9	△25.5	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	7,105	661	760	444	56.32

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,150	630	700	420	53.20
今回発表予想(B)	5,950	740	790	750	95.00
増減額(B-A)	△200	110	90	330	
増減率(%)	△3.3	17.5	12.9	78.6	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	6,384	608	701	419	53.13

修正の理由

(個別)

平成22年5月12日発表の通期業績予想に比し、売上高は200百万円の減少の見通しとなるものの、利益面では、販売費及び一般管理費の削減に努めた結果、営業利益が110百万円の増加、経常利益が90百万円の増加の見通しとなりました。

当期純利益は、当第3四半期会計期間におきまして連結子会社の株式売却益324百万円を特別利益として計上したことなどから330百万円の増加の見通しとなりました。

(連結)

主に個別業績修正に伴う要因に加えて、当第3四半期連結会計期間におきまして連結子会社の株式を売却したことにより、第4四半期連結会計期間の当該会社の売上高及び損益は連結の範囲から除外されることが要因となっております。

当期純利益につきまして個別業績と連結業績が大きく乖離する見通しとなる要因は、連結子会社の株式売却損益の個別・連結の会計処理の差によるものであります。

個別業績では連結子会社の株式譲渡対価340百万円と個別上の当該子会社株式簿価16百万円との差額として子会社株式売却益324百万円(特別利益)を計上しております。

一方、連結業績では、連結子会社の株式譲渡対価340百万円と連結上の当該子会社株式簿価393百万円との差額として子会社株式売却損53百万円(特別損失)を計上しております。

また、連結子会社の株式譲渡に関しましては、平成22年12月26日付「子会社の異動を伴う株式の譲渡に関するお知らせ」を合わせてご参照下さい。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成22年5月12日発表)	—	0.00	—	16.00	16.00
今回修正予想	—	0.00	—	19.00	19.00
当期実績	—	0.00	—		
前期(平成22年3月期)実績	—	0.00	—	16.00	16.00

修正の理由

当社は、株主様への利益還元を経営の重要政策として位置付けており、安定的かつ継続的に業績に見合った成果の配分を行っていくことを基本方針としております。

上記、業績予想の通り、個別通期売上高が若干の減少となるものの、営業利益、経常利益では若干増加し、当期純利益が大幅に増加する見通しとなりました。また、次期以降も業績が堅調に推移することが見込まれることから、現時点において期末配当予想を16円から19円に修正させていただきます。

以 上